

友愛こうら

第96号 発行：甲良町老人クラブ連合会
水と緑に恵まれた、歴史豊かな、この郷土を愛し、
たがいに友情の手で結ばれた老人クラブをめざそう

『ウイズ コロナ?』『アフター コロナ?』
コロナとうまく付き合っていきたいのだが…

甲良町老人クラブ連合会 会長 小林 和夫

『友愛こうら』第96号は、当分の間休刊するとお知らせしておきました。第50回記念の老人クラブ大会も中止となり、これに関連する内容だけは会員の皆様にお知らせしておきたいと思い発行することといたしました。

老ク連では、昨年度からの課題やコロナ禍の感染状況をふまえて、本年度は、『ウイズ コロナ』でいきたいと考え、段階取りしてきました。即ち、コロナの感染状況を注視、分析し、高齢者組織の責任等を考えること、そして、それぞれが身につけてきた感染防止の習慣を徹底し、運営面でも細心の配慮をしてコロナを寄せ付けないう『甲良町老人クラブ連合会の行事』を展開していきたいと考えてきました。しかし皆様から、コロナウイルスが下火になり、おおよその先が見え(誰もが)大丈夫だろうとの環境が整うまで、諸行事すべてを自粛すべきとのご意見が

あり、中止することといたしました。

県下においても『まん延防止等重点措置』が適用され、また、すぐに「緊急事態宣言」となり、九月末日まで厳しい状況となりました。九月末頃から感染者数は減少し、ワクチン接種も進んできていますが、終息は見通せないとも聞きます。『ウイズ コロナ』の判断はとても難しく、高齢者の活動をどのように計画していくべきか苦慮するところであ



《令和元年度のグラウンドゴルフ大会です。運動だけでなく、広々としてゆったりとした気分になります。早くこんな日がきてほしいですね》

あります。

老人クラブだけでなく私たち高齢者の参加する活動は、ほとんど中止され、人とのつながりも希薄になっていきます。そして、フレイルといわれる要介護になる一歩手前の虚弱状態(認知状態)に知らず知らずのうちになっていく高齢者が増えてきています。警鐘を鳴らしています。えらいことであると思います。

みんなで知恵を絞り、老人クラブの活動はできませんが、一人一人が意図的に身体活動や頭の体操、それに心の潤いを感じる活動を、どうぞお元気で
お過ごし
ください。
さい。



県老ク連から出されたパンフレットに「フレイル」のことが挙げられていましたので紹介します <抜粋>

一人ひとりのこころがけ 健康長寿のために 『フレイル』を予防しましょう

「認知症」の一歩手前までできています。

年齢とともに運動量が低下し、周囲との交流も少なくなると消極的になりがちで生活が続くと、次第に心身の衰えが加速して『フレイル』に近づきます。『フレイル』を予防するには『運動』や『社会参加』と合わせて、筋肉を強くして身体機能を維持することが不可欠です。良質なたんぱく質等『栄養』を重視したバランスの取れた食生活が大切です。<以下省略>



『甲良町老人クラブ大会・50回記念大会』…
残念ですが大会は中止致しました

『甲良町老人クラブ連合会 沿革』の発行

50回大会記念として
全会員様にお配りいたします

十一月になればコロナも落ち着くようになり、やり方を工夫すれば開催できるのではないかと考え、理事会で開催要領を提案させていただきました。そして、参加の会員様が大会を終えて帰るときに駐車場で、「来て、よかったね。」というつぶやきが聞けるように、ゲストの招聘や配付物の準備、運営面の配慮事項を細かく考えてきました。

そして、規模は小さくても心を込めて昨年度から引き継いだ50回の記念大会を開催する準備をしてきました。しかし、残念ですが、開催を断念いたしました。大会は中止しましたが、半世紀以上続く甲良町老ク連の歴史をまとめた「沿革」は予定通り発行し、会員の皆様に記念として配布させていただくこととしました。



五十余年の歴史の中で、記録されていない部分があったり理解しにくいところもあります。皆様から情報をお寄せいただけるとありがたいです。また、目を通していただき、老人クラブとご自分の関りを振り返ってみてください。そして、これからの老人クラブの活動にご示唆を与えていただけるとありがたいです。

祝ご長寿

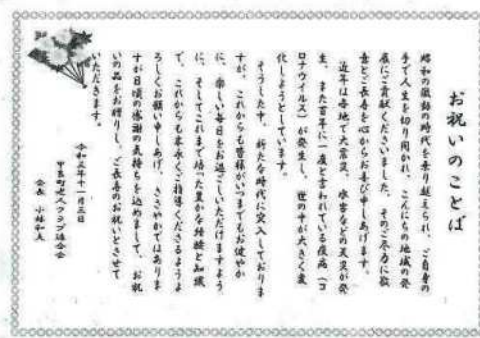
数え年90歳以上の会員様
男性34名 女性100名 合計134名(会員全体の9.6%)



東京五輪やパラリンピック

が一年延期された時には、それまで元気でいて観戦したいと願われた方がおられたと思います。高齢者の組織集団である老人クラブの事業・行事は、毎年会員様一人一人にとつて最後の行事であるかもしれませぬ。一つ一つの行事や活動は今しかできないことかもしれませぬ。まさに『今を生きる』です。心をこめて大切に、大切に、構想し実践していかなければならないと、言い聞かせています。

老人クラブ大会は開催できなくても、長寿を喜んでいただけるように、九〇歳以上の方のご長寿祝いは、欠かすことなくさせていただきます。お祝いの言葉に添えて、長寿をお祝いする紅白のお饅頭をお贈りしていましたが、時節柄食べ物は遠慮してさやかな品物にさせていただきます。



ご長寿祝いをさせていただいた方は、百三十四名です。昨年度と比べると、会員数が22名減ですが長寿者は12名増えて、全会員数の10.7%になっていきます。人生一〇〇歳時代となり、うれしいことです。

毎年、長寿お祝い者名簿をつくらせていただいています。が、まだご健在なのに名前がない方に気づきます。それは、何らかの都合で退会された

字別長寿者数は次の通りです 《R.3.10.15 現在》

字名	人数	字名	人数	字名	人数
在士	8名	呉竹	9名	池寺	13名
下之郷	27名	小川原	5名	長寺東	5名
尼子	18名	北落	14名	法養寺	8名
出屋敷	3名	金屋	17名	横関	7名

《正楽寺 長寺西は該当者なし》

いうことを聞きます。長年にわたつて加入し、活動していただいたのに、こうした方々をどうすればいいか心を痛めます。できれば終生会員でいていただきたいと思います。各字でも考えていってください。とは思いますが、よろしくお願ひいたします。また、現会員様におかれましては、どうぞ終生会員でいてくださるよう、ご配慮をあわせてお願いいたします。

町・県・全国老ク連会長表彰

老人クラブ育成功労者賞 老人福祉介護篤行者賞 優良老人クラブ賞の授与



本町老ク連では、毎年、クラブ大会式典の中で、老人クラブ育成功労者と老人福祉介護篤行者に町老ク連会長より表彰を行っています。被表彰者は、字の会長様から推薦していただいています。

育成功労者賞は、老人クラブ活動や高齢者福祉に関する活動や高齢者として温かい地域貢献や次世代育成活動に尽力され、その功績が顕著で、単位クラブ役員会で推薦された会員様に贈るものです。また、老人福祉介護篤行者賞は、病床にある高齢者・家族を長期にわたり献身的に介護し、

近隣者より称賛されている会員様、また、独居・高齢者世帯や寝たきり老人等に対して長期にわたり友愛訪問を続け、他の模範となる会員様に贈るものであります。

二つの賞は、県や全国老ク連会長表彰にも連携していて、町会長表彰を受けられた方という規定にもつながっています。

今年度の育成功労者賞は、古川みさ子様(下之郷)です。介護篤行者賞は、残念ですがありませんでした。

例年ですと老人クラブ大会で授与しお礼やねぎらいの言葉を述べ、ご紹介していました。が、今年度もそれがありません。広報でのご披露とさせていただきます。広報でのご披露とさせていただきます。ただ、該当字の会長様よりお届けさせていたいただきます。滋賀県老人クラブ会長賞並びに全国老人クラブ会長賞の受賞について

県老ク連会長からの表彰、さらには、全国老ク連会長から、町老ク連会長より推薦した育成功労者や優良単位クラブ、福祉介護篤行者等にそれ

ぞれの組織で選考会を得て表彰されます。

本年度県大会は十一月二十五日《木》に開催される予定です、その中で授与されます。また全国表彰は全国大会式典の中で行われるのですが、今年度も残念なことに中止となり、県大会で伝達されます。今年度も本町から次の方クラブが表彰されることになりました。

滋賀県老人クラブ会長表彰

★優良老人クラブ賞

正楽寺老人クラブ

(会長久保田進様)

★福祉介護篤行者賞

西堀治男様(下之郷)

全国老人クラブ会長表彰

(県大会で伝達)

★優良老人クラブ賞

尼子老人クラブ喜楽会

(会長松宮久夫様)

『おめでとうございます。』受賞者や受賞クラブの会長様の写真をここで掲載させていただきます。お詫びいたします。



令和三年度の甲良町老人クラブ連合会の会員数は、1247人(男性548人、女性699人)加入率55.0%となりました

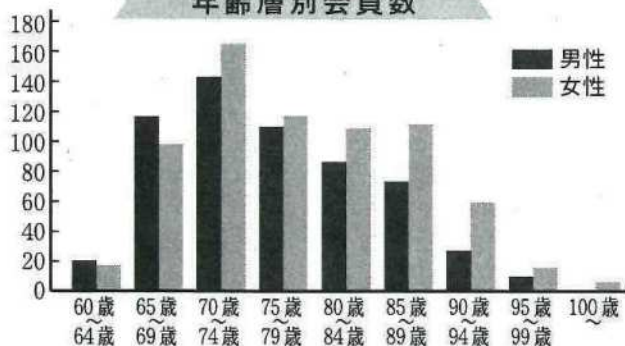
会員数を昨年度と比べると、男性1人、女性21人合計22人の減で、加入率も0.8%低くなりました。

各字で年齢層別会員数を調べていただいた集計では、70歳から74歳までの方が最も多く24.5%を占めています。また、後期高齢者は男性会員は49.3%、女性会員は59.8%となっています。

町全体の人口は年々減少し、今年も老人人口も7人減っています。そして、甲良町の高齢化率は、33.6%で県下で3番目であると、敬老の日にテレビで放送していました。

こうした中で、町全体の会員数は減少していますが、6字ではわずかずつですが増えています。一定の年齢になれば新しく入会してくださる方は難しくなっています。が、従前とさほど違いがありません。一方お亡くなりになつてきていることも長寿者の調査で伺えます。

年齢層別会員数



十分な考察はできていませんが、退会者が課題になるように思います。字並びに連合会の活性化のため、皆様もお考えください。役員様だけでなく会員皆様で会員の増強を図っていただきしたいと思います。また、甲良町は町内全字そろって連合会に加入していただくことが発足以来続いていきます。とつても嬉しいことであり、誇りにしたいことであります。





生活文化クラブの活動



今年度はコロナ感染防止や活動内容が見通せないことなどから、加入申し込みが激減し、33名となりました。多くの会員様の加入で盛り上げていただこうと軌道に乗ってきた老ク連ただ一つの趣味同好の会として、とっても残念です。

活動は、コロナ感染防止を最大限図りながら準備を進めてご案内してきました。しかし、十分な活動はしていただくこともできない状態になっています。

第1回 生活文化クラブ活動

『涼』を誘う『笑』と『季節の花』の『MYうちわ』の制作に挑戦

7月2日(金)
甲良町公民館2階多目的ホールで、
制作説明会を開催



《完成したうちわ》

参加申し込みはとりませんでしたが、入会者のほとんどの方が参加でした。
昨年度の体験に続いて切り絵による制作体験を標記のテーマでしていただく活動をしました。実際の制作は各ご家庭や家でしていただくこととし、制作に必要な用具材料はすべて各自持って帰っていただきました。制作の意図や手順等の説明と切り方の一部を体験していただいで短時間で終了しました。
制作は、行書風に書かれた『笑』の字を切り取り、自分のおもむくままに竹冠や辺を真っ白なうちわの上に配置し、笑う字を崩していろいろな笑いの表情を醸し出していくという活動です。うちわの裏には、町



《MYうちわの制作中》

花である『ふじ』や『紫陽花』を切り絵でつくり、夏の花や風物詩でMY U-TWAをつくらせてもらいました。色付けを依頼される会員様もあり、さらに次への発展も考えています。

8月上旬に第2回目の活動として身近な珍しい体験の旅をご案内しましたが、緊急事態宣言下となり、中止しました。残念!!
第2回生活文化クラブ活動
『珍しい体験の小さな旅』
九月二十九日(水)
ゆっくりゆっくりのんびりとなつかしいガチャコン乗車、たぬきの町で絵付け、梨のもぎ取り体験を楽しむ

編集後記

さわやかな秋は、コロナ感染拡大に一喜一憂しながら過ぎていきます。

老人クラブをはじめ関係機関での行事等もほとんどが見送りになり、豊かな心や温かいふるまいまでも、おかしくしてしまっているようです。そんな中ですが、皆様にはお変わりなく過ごしのことと思います。

50回を迎える老人クラブ大会も、残念ながら開催不可能となりました。大会開催については今までに会員様から頂いた多くの厳しいご指摘や励ましをだいにし、甲良町老人クラブの伝統を受け継ぎ、細部にわたり構想してきましたが、しかたありません。

『ウイズ コロナ』も『アフターコロナ』も、その判断はとっても難しいですが、これからも皆様とつくりだしていく老人クラブを目指して取り組んでいきたいと思えます。

先日テレビで「今 私は 生きていく。それが だいじ」と語りかけている場面がありました。世相を反映した台詞だと、ハツとしました。
もうすぐ「さむい さむい」という冬を迎えます。どうぞご自愛ください、お達者でお過ごしください。